



鳥森小学校



学校だより

12月号

令和7年 11月 28日発行

153-0051

目黒区上目黒 3-37-27

TEL 03-3719-1794

FAX 03-3719-2857

校長 丸山 智子

鳥森小 HP



心ゆたかで思いやりがある子 よく考えて進んで行動する子 からだも心もじょうぶな子

みんなが気持ちよく安心して過ごせるために

校長 丸山 智子

本校では、今年度から2年間、区の人権教育推進校の指定を受けています。人権とは何かと聞かれると大人でも一瞬答えに躊躇してしまうかもしれません。子どもたちには、人権について自分事として考えられるように、自分もみんなも気持ちよく安心して過ごせるためにはどうしたらよいか、授業や特別活動、日々の学校生活の中で考え、行動できるように取り組んでいます。

先日、「みんなが安心して過ごせるようにするために」どうしたらよいか考える道徳の授業を1,2年生で行っていました。「さるくんはだめ」という読み物を通して、自分の好き嫌いにとらわれずに接しようとする意欲を育むことがねらいです。お話は、森の動物たちがケーキを作ろうと木の実を集めているところに、おこりんぼのさるくんが「ぼくも入れて」とやってきました。動物たちは「また今度ね」と言って仲間に入れてあげませんでした。このときの動物たちやさるくんの気持ちを子どもたちは考えていきます。「さるくんはおこりんぼうだからいやだな。」「もし、途中でさるくんが怒りだしたら楽しくなくなる。」「先生は「入れてと言ったとき、さるくんは怒っていたかな」と子どもたちを揺さぶります。「やさしいうさぎさんが入れてと言ってきたらどうですか。」「の問いに、「入れてあげる。」という声があちこちで聞かれます。やさしい子は好きだけどおこりんぼは嫌い、ここに差別が生じていることを、まだ子どもたちは気付いていません。差別とは、好き嫌いで態度を変えること、自分と違う人を受け入れず排除することから始まります。

このお話は、さるくんと動物たちが仲良くケーキを作っている場面で終わります。一度傷つけてしまったさるくに動物たちはどのような言葉をかけて仲直りをしたのでしょうか。「傷つけてしまったことを謝る。」「一緒にケーキを作ろうと誘う。」など、子どもたちから様々な意見が出てきました。でも、さるくんの心を傷つけてしまったことには変わりありません。はじめから嫌な思いをさせないためにはどうしたらよいか、もう一步踏み込んで、自分事として子どもたちは考えていきます。「人のこと、相手のことを考える。」「先にどうなるのか考える。」「いいことはいいと言う。よくないことはよくないという気持ちを相手に伝える。」

40分の授業でしたが、みんなが安心して過ごせるようにするためには何が大事か、一人ひとりが自分にできることを考える機会になりました。352名のからすもりの子どもたちみんなが、気持ちよく楽しく安心して過ごせるために一人ひとりができること、みんなでできることを考え、行動していくことが、鳥森小学校をさらに素敵な学校にしていくものと信じています。

今年も残すところひと月あまりとなりました。良い年を迎えられるようあとわずかとなった今年を良いことで締めくくり、期待がもてる新年に向かいたいものです。